

KIRIN



よろこびが
つなぐ世界へ

Joy brings us together



キリンの気候変動リスクに対するシナリオ分析

第一回 気候変動関連データの活用と適応に関する実践パネル

2025年8月1日

キリンビール株式会社 技術部 兼

キリンホールディングス株式会社 CSV戦略部

横沼 徹

キリンググループと環境ビジョン

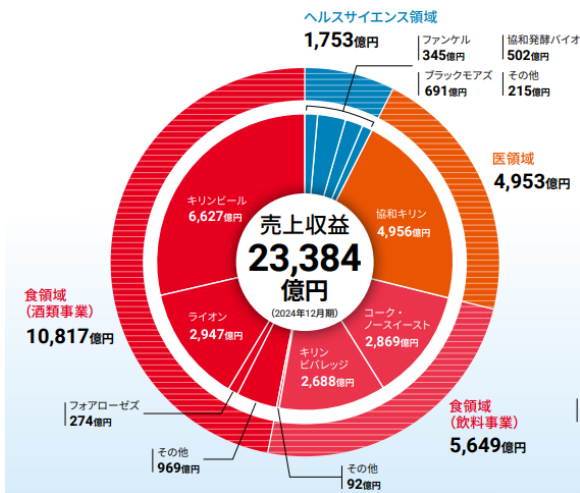
Joy brings us together

ビール事業で培った発酵・バイオ技術を生かしたユニークな事業ポートフォリオ



- 食（酒類/飲料）・医に加えて、新たにヘルスサイエンス領域に事業領域を拡大、ユニークな事業ポートフォリオを構築
- 全ての事業の原料が「農産物」と「水」、即ち自然資本に立脚した事業

連結売上収益、事業領域

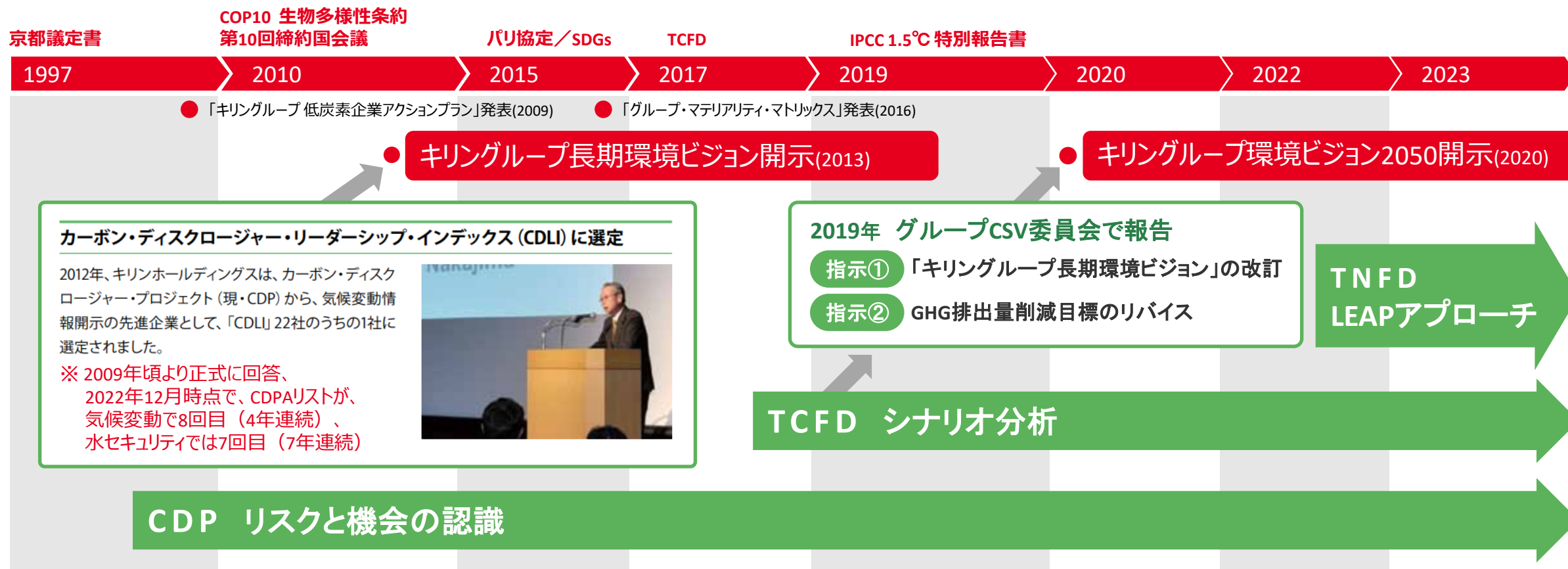


キリングループの世界の拠点



開示フレームワークから生まれた環境ビジョン

- 早くからCDPに対応してきたことで把握した「リスクと機会」の認識をベースとして「長期環境ビジョン」を策定
- シナリオ分析結果の説明を受けた経営層から、環境ビジョン改定・GHG排出量削減目標再設定が指示



「キリングroup環境ビジョン2050」を2020年に開示

- 環境の4つの重点テーマ（生物資源・水資源・容器包装・気候変動）は、別々の課題ではなく相互に関連しているために、統合的に解決していく
- 単に環境負荷を下げるだけでなく、ポジティブなインパクトを起こすことも目指していく

キリングroup環境ビジョン2050 ポジティブインパクトで、豊かな地球を

アプローチ: 統合的 (holistic)

環境のマテリアリティである「生物資源」「水資源」「容器包装」「気候変動」が別々の課題ではなく、相互に関連すること、そのために統合的に解決することが必要であるという考え方



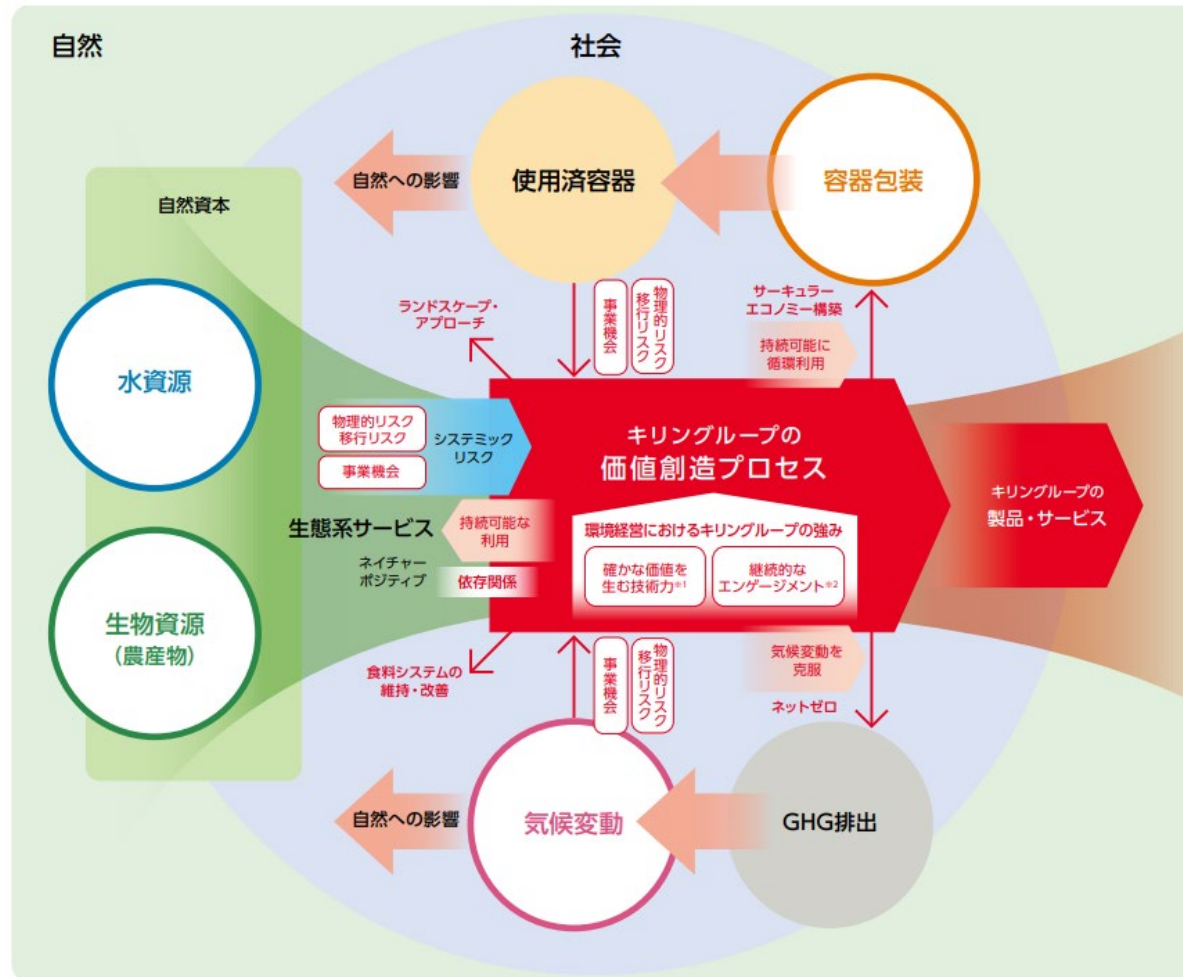
お客様をはじめ広くステークホルダーと協働し、自然と人にポジティブな影響を創出することで、こころ豊かな社会と地球を次世代につなげます

最重要メッセージ: ポジティブインパクト

自社で完結する取り組みの枠を超え、**取り組みそのものとその波及範囲を社会全体へ拡大し**、これからの世代を担う若者をはじめとする社会とともに未来を築いていくという考え方

キリングループの活動と自然との関係

- キリングループのすべての事業は、自然資本（生物資源・水資源）をINPUTとして、製品・サービスを提供し、社会的価値・財務的価値を創造している



気候変動リスクに関するシナリオ分析

Joy brings us together

シナリオ分析による事業インパクト評価と対応の概要

- ▶ 継続的に気候変動のシナリオ分析を行うことで、気候変動によるリスクと機会の把握レベルと戦略を向上。
- ▶ 自社製造拠点に加え、農産物の収量や調達コスト、カーボンプライシングなども財務インパクトの分析対象。

	事業リスク/社会課題	財務インパクト	対応
物理的リスク	農産物の収量減	2°Cシナリオ：約13億円～約34億円 4°Cシナリオ：約36億円～約137億円 (2050年) ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・大麦に依存しない醸造技術 ・植物大量増殖技術 ・持続可能な農園認証取得支援
	洪水による操業停止	約10億円 (200年災害、国内20カ所合計)	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水の知見共有 ・洪水への設備対応
	渇水による操業停止	約0.3 ～約6億円	<ul style="list-style-type: none"> ・渇水の知見共有 ・節水技術開発・展開
	ペットボトルのマイナスの影響	約11億円	<ul style="list-style-type: none"> ・メカニカルリサイクルの拡大 ・ケミカルリサイクルの製造技術確立
移行リスク	カーボンプライシングによるエネルギー財務インパクト	2°Cシナリオ：約94億円 4°Cシナリオ：約51億円 (2030年) ※2	<ul style="list-style-type: none"> ・GHG排出量削減の実現 ・損益中立でのエネルギー転換
	カーボンプライシングによる農産物財務インパクト	2°Cシナリオ：約9億円～約44億円 4°Cシナリオ：約24億円～約88億円 (2050年) ※3	<ul style="list-style-type: none"> ・植物大量増殖技術 ・持続可能な農園認証取得支援
	持続可能な農園認証の農園からの認証品の調達	約0.6億円	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な農園認証取得支援 ・持続可能な原材料の調達
事業機会	健康な人の免疫機能の維持	免疫健康サプリメント市場：28,961.4百万米ドル (2030年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスサイエンス領域での貢献
	熱中症の予防	熱中症対策飲料市場：940 ～ 1,880億円 (2100年、4°Cシナリオ)	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策飲料での貢献
	フードウェイスト削減	約9億円	<ul style="list-style-type: none"> ・製品廃棄の削減
	ベトナムコーヒー農園での化学肥料、農薬削減による財務インパクト	約1.1億円 ※4	<ul style="list-style-type: none"> ・エンゲージメントの強化

※1 価格変動予測データ分布の中央の50パーセンタイル幅で評価 ※2 価格変動予測データ分布の中央の50パーセンタイル幅で評価

※2 GHG排出量削減を行わなかった場合

※4 現地コーヒー農園からのヒアリングより試算

気候変動による農産物収量への影響

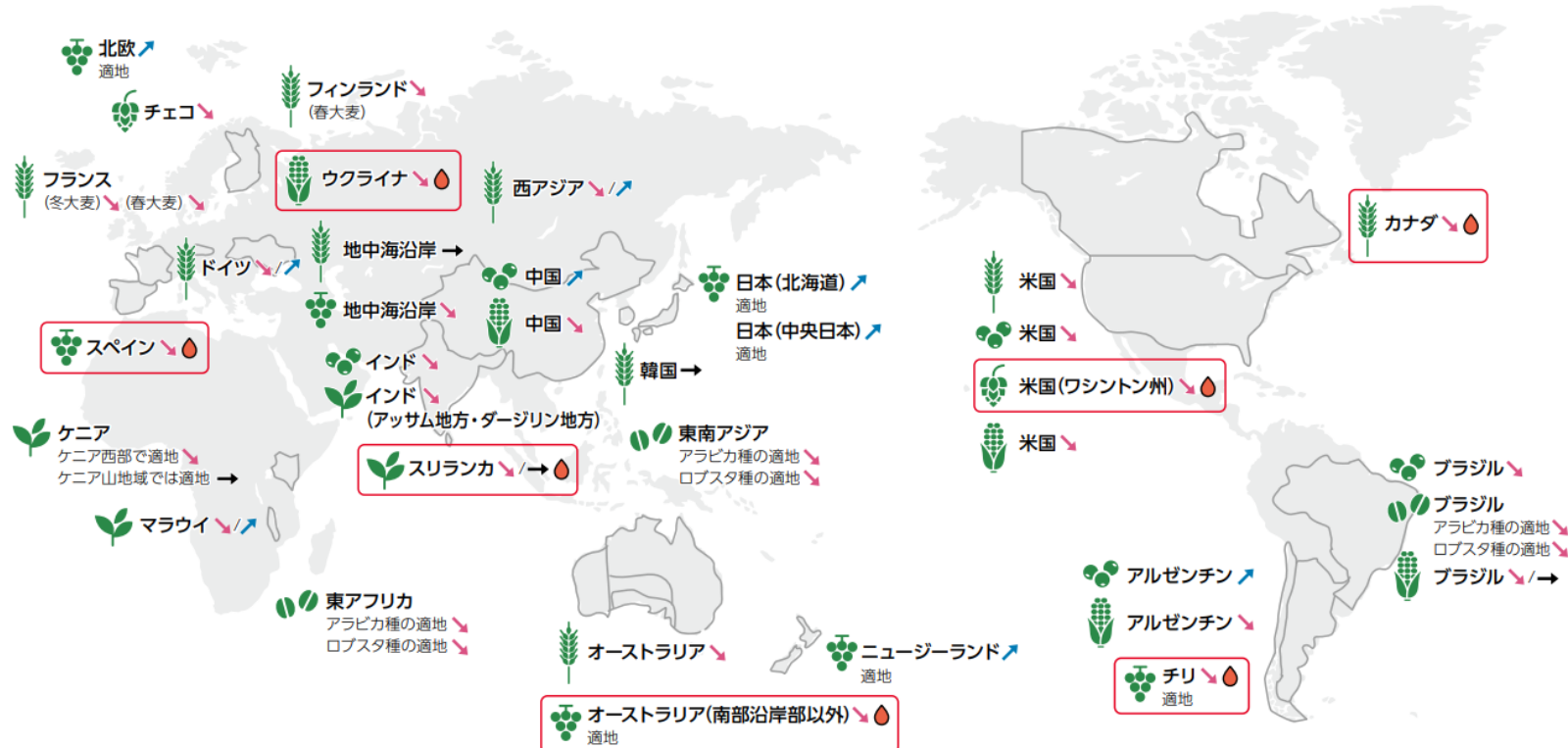
- 気候変動は、キリングループの主要な原料である農産物の収量に確実に影響する
- 代替原料の開発、新たな生産技術、持続可能な農園認証の取得支援などの取り組みが必要

気候変動による主要農産物収量へのインパクトと2050年前後の農産地の水ストレス

収穫している農産物 大麦 ホップ 紅茶葉 ワイン用ブドウ コーヒー豆 トウモロコシ 大豆

農産物収量または栽培適地面積へのインパクト(2050年前後・一部は2100年までに) 5%以上の増加 5%未満の増減 5%以上の減少

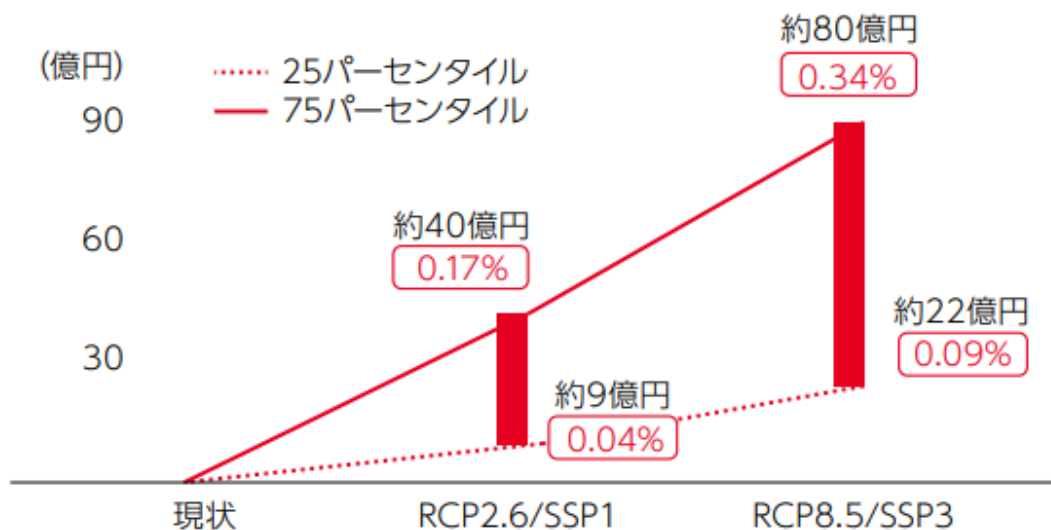
水ストレス(2050年)が高い〜極めて高いと評価される地域を産地とする農産物



カーボンプライシングによる農作物の財務影響

- カーボンプライシングの影響で、再生可能エネルギーとなるバイオ燃料用原料の需要が増大すると、酒類・飲料原料との競合リスクが見込まれる

2050年のカーボンプライシングによる
 農産物調達コストインパクト(売上収益に占める比率) ※1,2



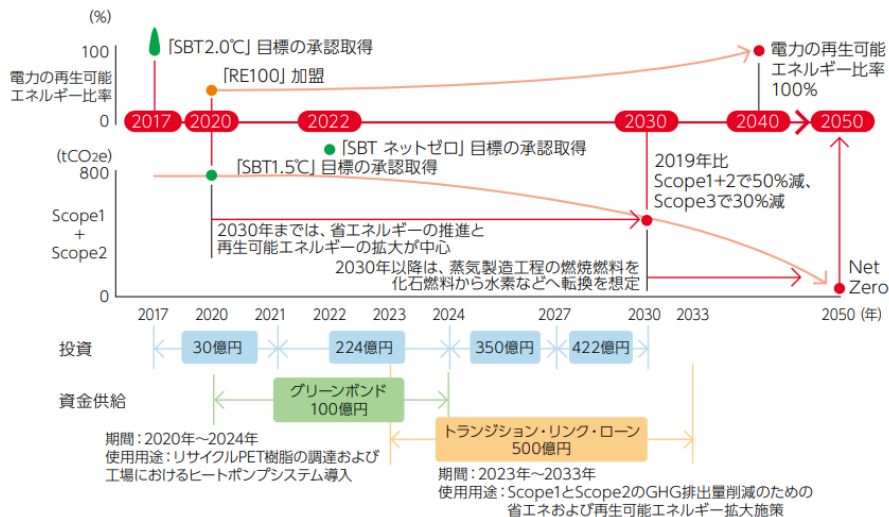
※1 試算のために使用している論文(参考文献に出典を記載)における社会経済システムがキリングループのシナリオとは異なるため、当該論文のRCP2.6/SSP1およびRCP8.5/SSP3シナリオで試算し開示しています。
 ※2 2024年データで再計算しています。

脱炭素社会への移行計画

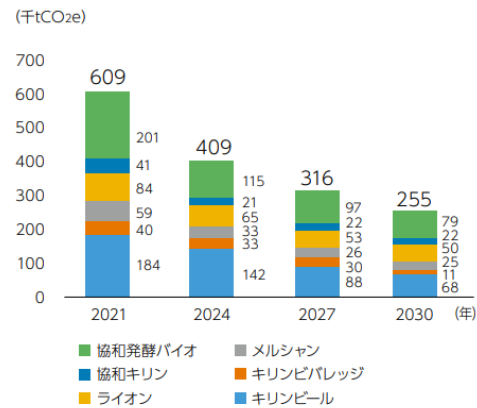
➤ 2030年に向けた「SBT1.5°C」目標と、2050年の「SBT ネットゼロ」目標に整合したロードマップに基づいて、GHG排出量削減していく

指標	2030年 目標	2024年 実績
Scope 1+2の GHG排出量削減	50%	34%
Scope 3の GHG排出量削減	30%	10%

ネットゼロに向けたロードマップ

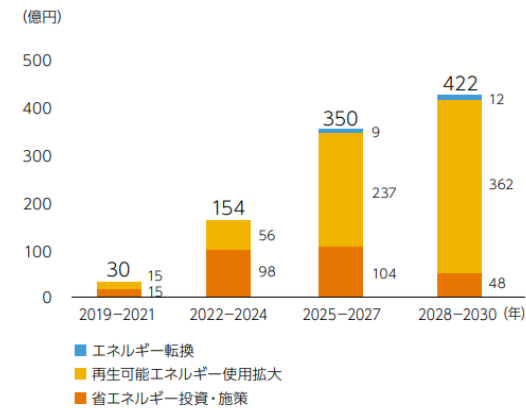


Scope1とScope2の排出量削減*

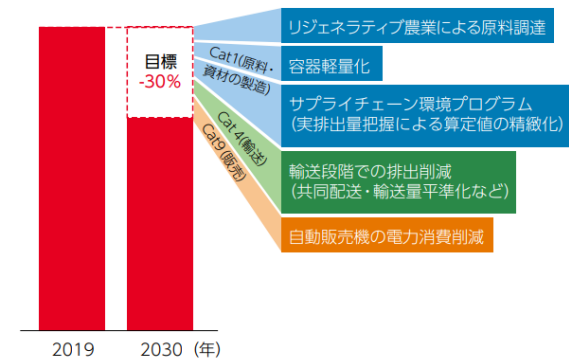


*グループ経営およびGHG排出量において影響の大きいと判断する会社情報を抽出し記載しています。今後抽出対象とする会社は適宜見直していきます。

投資額



Scope3排出量削減アクション



今後の課題

Joy brings us together

- 開示情報の経営判断への活用
- シナリオ分析の妥当性
- 各シナリオに対する物理リスク、移行リスクの想定



よろこびがつなぐ世界へ

Joy brings us together